

ヒノキの工作マグネット

西川材ヒノキの間伐材に小枝や目玉を貼りつけ、絵を描きます。
裏に磁石を接着すれば完成です。
立体的なヒノキのマグネットを作って、「森のおみやげ」に。



対象	実施時期	定員	所要時間
3歳以上	通年	5~100人	1時間
利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料	
なし	カラーペン・ボンド・小枝入れ用の箱 ゴミ入れバケツ	ヒノキの木片・紙やすり・小枝・目玉・磁石	

ねらい

- ・想像力・表現力を高める。
- ・西川材間伐材の活用。
- ・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、道具を準備していただきます。
- ◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください

準備（1作業台 1~3人程度）

（時間に余裕がある場合は、事前に 30 分程度小枝を拾う活動があるとさらに自然とのかかわりが感じられます）

- ① 作業台（丸太イス）を準備します。
- ② 各自に木片・紙やすり・磁石を配布します。カラーペンは各グループで使えるように置きます。
小枝は 10 人で 1 箱を目安に準備します。

実施

- ① 木片の表面や側面を、手触りが良くなるよう簡単にやすりをかけます。
- ② 小枝や目玉をボンドでくっつけて絵などをカラーペンで描きます。
- ③ 描き終わったら、裏面の中央部分に磁石をボンドで固定します。

※乾くまで 10 分程度放置しておきます

※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで、当所職員は事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、事務室へお声がけください。



片付け

- ① 道具の数を数えます。
- ② 道具類は最初にあった場所に戻します。
- ③ 使用した作業台を元あった場所に戻します。
- ④ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは当所職員が用意したゴミ入れバケツにまとめてください。
- ⑤ 後片づけは全員で協力して行い、次の団体が気持ちよく活動できるようにしましょう。

※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を当所職員が行いますので、事務室へお声がけください。

まとめ

- ・作品披露、ふりかえり

留意点

- ・ボンドで固定されるまで5～10分程度掛るので、なるべく触らずに置いておきましょう。

SDGs への取組

- ・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- ・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。

